

◇まちのアトリエ委員会◇

副理事長	森 隼人
委 員 長	戸島 大樹
副委員長	大竹 慧
副委員長	三好 早紀
委 員	木下 賢功
委 員	佐藤 真介
委 員	中元 直人
委 員	田岡 秀平
委 員	土田 美咲
委 員	吉本 凌志

<事業方針>

1 近年、美馬市・つるぎ町では、若い世代の多くが進学や就職をきっかけに地域を離れ、
2 人口減少に拍車がかかっています。県外で学び、挑戦し、多様な価値観を吸収することは、
3 その人の人生を豊かにし、やがて地域の力にもつながる大切な経験です。しかし現実には、
4 一度地域を離れた人は「帰りたい」と思っても、働きたいと思える企業や挑戦できる場が
5 少なく、地域の将来性を感じていないのが現状です。

6 このまちには、剣山をはじめとする豊かな自然、うだつの町並みや伝統工芸、にし阿波
7 の傾斜地農耕システムなど誇るべき地域資源が多くあります。その中で身近にある空き家
8 や農地といった遊休資源を用いて、活用方法を見出していくことで若者たちが挑戦し続け
9 る活気ある地域の可能性を創出できると考えます。

10 そこで当委員会は、地域資源を活かした体験型の事業や時流に応じた学びの場を通して、
11 地域の新たな魅力を発掘し、未来へとつながる取り組みで住民・企業・団体が持続的に関
12 わり続けたいと思える仕組みづくりをすることで心が還るまちを目指します。そしてこの
13 活動が、新たな地域モデルとなり、みんなで創りあげたまちになることで、美馬市・つる
14 ぎ町が地域の将来性を感じてもらえる、還りたいまちになります。

15 昨年度は、ひとづくり委員長としてのスタートは、右も左も分からず状況でしたが、
16 活動や運動を通じて少しずつ役割を理解し、青年会議所の持つ無限の可能性と組織の意義
17 を学ぶことができました。また、委員会メンバー全員で意見を交わし、互いに納得しながら
18 進むことで、一つの目的に向かう一体感を得ることができました。今年度のまちのアト
19 リエ委員会においても、想いを共有し、意見を出し合いながら目的に向かって最高の仲間
20 とともに、この一年間全力で邁進してまいります。

21

<事業計画>

1. まちづくり事業の企画・設営・運営（3月.7月.8月）
2. 例会の企画・設営・運営（3月.7月.8月）